



ほっかいどうせいぶつたようせいほぜんけいかく 北海道生物多様性保全計画



だい じ けいかく
(第2次計画)

そ あん がいよう ぼん
素案の概要 (やさしい版)

けいかく なまえ 1 計画の名前

ほっかいどうせいぶつたようせいほぜんけいかく だい じ けいかく
北海道生物多様性保全計画 (第2次計画)

けいかく もくてき 2 計画の目的は？

わたしたちは、肉や魚、野菜などの食べものや、木材や天然ゴムといった材料、美しい風景など、いろいろなかたちで、北海道をはじめ、国内外に暮らすたくさんの生きものの恵みを受けて、生活しています。

こうした生きものの恵みの豊かさは、さまざまな違いのある生きものたちが食べる食べられる、死んだ生きものを分解する、すむ場所をめぐって競い合うあるいは協力し合うなど、さまざまなかたちでかかわり合うことによって、支えられています。このような「違い」と「かかわり合い」のことを「生物多様性」といいます。

北海道生物多様性保全計画は、こうした生物多様性を将来にわたって守り北海道で暮らすわたしたちが、いつまでも生きものの恵みを受けて生活ができるようにするための計画です。

けいかく ひつよう 3 なぜ計画が必要なの？

世界や日本の生物多様性はわたしたち人間の活動によって失われ続けているといわれています。これは、北海道も例外ではありません。

明治以降、北海道では多くの森林や湿原を切りひらき、街や田畑を広げました。この結果、わたしたちは快適な暮らしを送れるようになりましたが、多くの生きもののすむ場所が失われました。

また、近年では、地球温暖化によって涼しい場所にすむ生きものが暮らしにくくなったり、エゾシカが増えすぎたことによって草木が食べられてなくなったりするといった問題も出てきています。

こうした問題による影響をできる限り小さくし、北海道の豊かな生物多様性を守っていくことが、今、必要とされています。

4 計画には何が書かれているの？

2030年までに、失われる生物多様性が少なくなっているとともに、回復が進んでいることを目指し、次の四つの方針を定めています。

(1) 生物多様性を失わせる原因に対処すること

例えば…絶滅のおそれのある生きものを守る、北海道にもともといなかった生きものが増えないようにする、空気や水の汚染を防ぐ など



(2) 生物多様性を守るための場所を確保すること

例えば…国立公園や鳥獣保護区などの法律によって決められた場所の環境を守る、地域の人々によって守られている場所を応援する など



(3) 生物多様性をさまざまな場面で活用すること

例えば…地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収する、自然の力で災害を防ぐ、地域の自然の魅力を活用して観光客に来てもらう など



(4) 生物多様性を守るために、わたしたちの行動を変えること

例えば…環境に配慮された商品やサービスを利用する、生物多様性の大切さをみんなて学ぶ、自然とのふれあいを増やす など



5 意見の出しかた

スマートフォンやパソコンなどから簡単に手続きができます。

URL

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/kodomopc.html>

二次元バーコード→

